

[ きらりいわた人スペシャル 特別対談 ]

磐 田 市 長 E X I L E  
草 地 博 昭 × A K I R A



今月のきらりいわた人は、ダンス&ヴォーカルユニット「EXILE」の  
一員で、磐田市出身のAKIRAさんです。  
昨年 EXILE 結成 20 周年を迎え、今年 1 月には第 1 子が誕生。  
表現者として、父として、新たなステージを歩み始めた AKIRA さんに  
草地市長がお話を伺いました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対談はオンラインで行いました。

**草地区長（以下「市長」）** 本来でしたら直接お会いしてお話ができれば良かったのですが、新型コロナウイルスの影響で会えなくて本当に残念ですね。

**AKIRA** 僕もお会いできるのを楽しみにしていました。でもこういう形（オンライン）も今の時代ならではのですね、とても楽しみにしていました。

**市長** それではよろしくお願います。まずはお子さんのご誕生おめでとうございます。

**AKIRA** ありがとうございます。毎日が幸せですし妻にとっても感謝しています。

**市長** 私のことをどこまでご存じか分からないのですが、40歳で若い年なんです。南部中学校ではサッカー部でした。

**AKIRA** そうなんですか。僕も城山中学校でサッカー部なので試合をしますよね。

**市長** してましたね。城山中は強かったですよ。小学校の時はどこでサッカーをしていましたか。

**AKIRA** 僕は富士見小学校ですが、当時は近くにサッカーチームがなかったんです。そこで、富士見町で空手を教えていた方が地域の子どもたちにサッカーも教え

てくださることになりました。最初は草野球ならぬ草サッカーみたいな形でしたけどね。

**市長** テンマサッカークラブですよ。小学校の時に試合して何度か負けています。

**AKIRA** サッカーの楽しさというのを教えてもらって、すごく良い思い出が残っていますね。

**市長** 子どもの頃はどんな少年でしたか。

**AKIRA** 当時は、富士見小でしたら隣の磐田北小エリアに行くことが禁止されていたんです。歩いて5分、10分ぐらいで行けるところなのに、その境を越えただけでも何かドキドキしてたような。子どもでしたしね。今だから言えるんですけど、内緒で自転車に乗って境を超えて遊びに行ったり。これを読んでくださっている小学生は絶対に真似をしないようにね（笑）。今思えば、自由だけではなくてしっかりと規則があって、その中でいかに楽しむかっていうところが大事だったんだなと思います。

**市長** よく分かります。私も今之浦地区にあったゲームセンターや、夏の花火大会へ行くのもドキドキしました。

## EXILE AKIRA

磐田で過ごした  
少年時代は  
すごく色濃い  
思い出です。





AKIRA そうですよ。磐田で過ごした少年時代はすごく濃い思い出です。なかなかこういう話を東京に来てからしたことがないんですよ。共感してもらえないじゃないと話せなくて、特に同世代ならではのじゃないですか。今の子どもたちには理解しづらい古き良き時代といえますか。

市長 私も話しているうちにいろいろと懐かしく思い出されてきました。

AKIRA そういえば、今之浦公園の前にソフトクリーム屋がありましたよね。

市長 ありました。でも今はもうないですね。

AKIRA すいません余談ばかりで（笑）。

生まれ変わる思い出深き

市民文化会館

市長 今回AKIRAさんとお話したいと思ったのは、新しい磐田市民文化会館「かたりあ」が今年の夏に開館します。それに伴って旧市民文化会館の建物を取り壊すことになりました。新しい文化会館がオープンすることも大事なんですが、旧会館には色々な思い出

が詰まっています。AKIRAさんはそこでダンスの練習をしていたというのを聞いていたので、特に思い出があるのではないのでしょうか。

AKIRA そうですね。

市長 いろいろと磐田に貢献していただいているAKIRAさんが故郷に戻ってきてみたら、あの思い出の場所がなくなっているって思わせちゃいけない、そのことだけでも伝えたいといけないという思いで連絡を取らせていただきました。

AKIRA ありがとうございます。市長さんとお話できることは光栄です。やはり僕にとつてあの市民文化会館というのは、初めて夢を抱いた場所なんです。就職するのか進学するのも決めずに高校を卒業して、いわゆるフリーターですよ。そんな時にダンスという唯一自分がとりこになったものと、市民文化会館という場所があつて。楽しく夢を追いかけられた今に繋がる日々でした。あの場所です。最初にダンス練習をやり始めた時は僕一人だったんですよ。EXILEになってから親から聞いたエピソードですが、夜な夜な

## 磐田市長 草地博昭

思い出の場所が  
なくなることを  
どうしても  
伝えなかった。





ラジカセ一つ自転車のカゴに入れて出掛けるので、心配で尾行してきていたらしいです(笑)。うちの息子は夜な夜などこに行くんだと。心配して姉と尾行したら、真面目に何かとりつかれたように市民文化会館の前で踊っていたから、まあ子どもを信じて見守ってみたいな感じだったらいいです。市民文化会館の関係者の方や管理会社の方たちもきつと僕を目撃していたと思うのですが、追い払うなどせずにそのまま見守ってくださいました。そういう場を優しく提供してくださいっていた大人の方々がいたからこそ子どもたちが夢を見られて、僕自身はEXILEというところまでたどり着けたので、市民文化会館に携わる全ての関係者の皆さんに感謝しています。

**市長** そうだったんですね。そういう子どもの頑張る姿を見守ってあげることが大切ですね。新しい市民文化会館に期待することはありますか。

**AKIRA** そうですね。ダンスのこと

ばかりお話ししてしまったんですけれども、中学校の時に合唱コンクールをやらせてもらったりだとか、あとは成人式も市民文化会館でした。

**市長** 旧磐田地区の同級生なので、一緒に成人式の式典に出ていたんですね。

**AKIRA** そうですね(笑)。そういう式典もそうですし、あとは当時ですと映画を無償で見せてくれたりとかもあつたのかな。小中学校の時に市民文化会館でやる催し事であったりイベントであったり良い思い出が残っていますので、新しい市民文化会館も地域の方々の思い出に残るような場所になっていただけたらなどと思います。

### AKIRAから見た

### 故郷の現在いま

**市長** 磐田を離れて20年ぐらいですか。

**AKIRA** そうですね。

**市長** 離れたところからみて、現在の磐田にどの様な印象をお持ちですか。

**AKIRA** やはり一番は磐田のスポーツ選手が活躍していることですね。磐田市出身のオリンピック選手もそうですし、格闘家の方もそうです。そういったスポーツのまちというのは離れた場所からでも情報が入ってきますね。

**市長** RIZINライジン(格闘技の大会)で活躍している磐田市在住の格闘家、ホベル



ト・サトシ・ソウザ選手やクレベル・コイケ選手たちですね。

**AKIRA** そうですね。僕は格闘技が好きなのでテレビ観戦するのですが、ソウザ選手やクレベル選手の紹介で静岡県とか磐田市とか出るじゃないですか。もうそれだけであたかも自分の知り合いかのように「これは磐田の選手だぞ」って隣の妻に自慢しています(笑)。そのぐらい静岡っていうワードより、より具体的に磐田と出るとすごく親近感が湧きますね。

**市長** 離れてからもずっと見守ってくれているということは大変うれしいです。  
**AKIRA** エンターテインメントの仕事

事をしていると故郷に帰るタイミングってなかなか難しいのですが、EXILE TRIBEのリーダーとして組織の中心でいろいろと活動している中で、社会貢献という面でもより力を入れていきたいですし、地域の方々とも何か触れ合えることがあったら、素敵だなと思います。







## コロナ禍での活動で感じたこと

**市長** 話題を変えて新型コロナウイルスの關係のことをお聞きしたいと思えます。どんな思いでこの間活動されてきたかというところをお話いただけますか。

**AKIRA** 緊急事態になった時には、衣食住が最優先でエンターテインメントというものはやはり二の次の存在です。すごく自分たちの存在意義を見つめ直した期間でしたが、僕たちEXILEは常にピンチをチャンスにとというポジティブマインドでどんな局面も乗り越えてきた軍団ですし、2011年の東日本大震災の時と同じようにエンターテインメントの力を信じて「日本を元気に」という熱い魂を持って歩んでいくことが大事なのかなと思えました。ライブを再開するにあたっては迷いもありましたが「Save Your Neighborhood」(みんなで守りあおう)というテーマを掲げて、ファンの皆さんもその合言葉を

しっかりと持ち帰って自分の家族や職場、学校の仲間などに伝えてくださったこともありました。すごくファンの皆さんに学ばせていただきながらエンターテインメントの再開ができたと思います。

## 磐田から世界へ 新しい未来へ

**市長** 最後に、これからの磐田市に期待することを伺えますか。

**AKIRA** 期待することですか。市長さんは何かありますか。

**市長** 私は多様性というのを大事にしています。学生の時、居場所がない同級生がたくさんいました。AKIRAさんはダンスという居場所を作ることができたと思います。居場所ができず苦しんでいる子どもが今もたくさんいます。です



磐田市民文化会館「かたりあ」は7月30日(土)に開館します。内部の様子など詳しくは広報いわた5月号で特集します。

から、子どもたちには居場所をきちっと作ってあげたい。文化でもスポーツでも何でも良いので、自分の居場所が必ずこのまちにあるような安心できる磐田市にしていきたいと思っています。

**AKIRA** 素晴らしいですね。今、さまざまな境遇と向き合っている方々がいると思います。ですが、決して希望を見失わず、市長さんがおっしゃったように、とにかく、チャレンジ精神を忘れず何でも挑戦して欲しいです！そして自分の居場所を作ってほしいですね。特に若い皆さんは、僕が磐田で夢を抱いていた頃よりも夢を叶える手段や、自分の「居場所」の作り方は、はるかに方法が増えていると思います。YouTubeやSNSの活用の多様性はもちろん、芸術やファッション、クリエイティブ職、その他専門職や技術職など適職を見つけてる幅も広がっているかと思えますし、その情報網も今では沢山あるかと思えます。自分次第で、誰でも夢を叶えられる環境を自分たちで作れると思います。磐田から世界に羽ばたいていけるような、それぐらいチャンスがある世の中です！コロナ禍でまだまだ大変な状況下ですが、ピンチをチャンスに、乗り越えた逆境の数だけ強くなれると信じて、その先にある新たな未来を見据えて力強く歩んでいってもらえたらと思います。僕もさらなる夢に向かって頑張ります！



**市長** ありがとうございます。

**AKIRA** 磐田の懐かしい話が出て楽しかったです。あと2時間ぐらいはいけそうなんじゃないかな(笑)。

**市長** いけますね。次は直接お会いできることを楽しみにしています。

**AKIRA** そうですね。ぜひこれを機に磐田の皆さんといろいろなつながりを持ってたらしめますし、コロナ禍が落ち着いたら市長さんのところにも会いに行きます。今後ともよろしくお願ひします。

## エグザイル アキラ EXILE AKIRA

1981年生まれ

磐田市出身

パフォーマーとしての活動に加え、映画、ドラマ、舞台などさまざまな分野で活躍。2022年1月1日、EXILEオリジナルアルバム「PHOENIX」リリース。5月まで「EXILE 20th ANNIVERSARY EXILE LIVE TOUR 2021 "RED PHOENIX"」開催中。